



吉田武郎 (YOSHIDA, Takeo)

研究員

修士 (農学)

1979 神奈川県生まれ

2004 東京農工大学大学院 農業環境工学専攻 (修士)

2004 農業工学研究所配属

2005 農地・水資源部 水文水資源研究室

2011 水利工学研究領域 水文水利担当



研究者の横顔

<これまでと今, これから>

川崎の町中に育つ。小さい頃、家のそばに流れるどぶ川が、以前は用水路であったことを知った。水路をさかのぼると古い円筒分水工があり、円筒の中央から水があふれ出してくる不思議さが印象に残っている。また、父の田舎で、夏のむせかえるような田んぼのにおいの中で、ザリガニ取りなどに興じたことも楽しい思い出である。

農業に対する漠然とした思いと物理が好きだという単純な理由で、大学では農業工学を学んだ。灌漑は人と自然との関わり合いの中ではぐくまれてきたもので、そこには先人たちの知恵と工夫があることを学び、この世界に興味を持った。

現在は、流域の水循環における人間の関わりを理解することをテーマにして、流域スケールの物理的な水文過程と、水資源管理、灌漑のプロセスを組み込んだモデル構築と解析に取り組んでいる。将来はいろいろな国や地域で仕事をしてみたいという夢を持ちながら、水文と水利用の狭間で修行中である。



<てづくり>

手作りがすき。最近のヒット作は、昨年の冬に作った我が家の内窓。ポリカーボネイトの板を窓枠にはめ込むという単純な構造で、過酷な冬の環境を改善した。家族にも好評！古い公務員住宅は、手を入れるところがたくさんあるので楽しいですよ。今夏は野菜作りなども楽しんでいます。

<おふたいむ>

小さい頃から剣道をやっていた。剣道人には無条件に好感をもってしまう。就職してからは、みどり豊かな筑波山を走ることを趣味にしていたため、ブランクがあるが、現在剣道も修行中。今年、仕事でカンボジアに2ヶ月滞在した際に、地元の剣道クラブの稽古に参加し、アメリカ、韓国、フランス、カンボジアの人々と剣を交えての交流を楽しんだ。たかが剣道と侮るなかれ、一番性格が出るのである。



カンボジアの剣道仲間たちと